

## 花木を育てるために役立つ本の紹介

中 内 武 五 朗

最近、日本中で花木を育てたり、あるいは庭をつくることがブームとなっている。しかし、実施にあたってはかなりの苦勞をしているようである。そんなことから、どんな本がよいだろうか、またどこで手に入れられるかの問い合わせが多い。このことから当試験場で購入した本で読みやすく、参考書として奨めたい本を一部紹介することにした。

**シャクナゲとツツジ** 東京山草会著 1969

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1 - 5 1, 200 円 295 ページ

シャクナゲとツツジの分類を主体にしており、園芸界では名の高い人が執筆している。特にカラー写真も多く、品種ごとにその特性をこまかく書いている。そのほか、シャクナゲ、ツツジの歴史と、栽培、繁殖方法をわかりやすく説明し、管理手入れ、病虫害防除についても気を配っているから、栽培をこころみる人によるこばれる本である。

**緑で公害から町がよみがえるまで** 上田芳江・山崎盛司共著 1971

ガンデラ書館 東京都港区西新橋 1 - 20 850 円 270 ページ

宇部市は現在「緑と花の工業都市」とよばれているが、ここに至るまでの苦節 20 余年、緑をつくるために生きてきた 2 人の記録を描いた本である。2 人の植えた木はあるときは折られ、抜かれたこともあったが、市民の声を市政に反映させ、月に 1km<sup>2</sup> あたり 85 トンの灰がふる街を日本一の緑多い街につくりかえた功績は大きい。緑化、自然保護がやかましい現在、多くの人に是非読んでもらいたい本である。技術的なことも多く書かれているので、参考書としても役立つことが多い。

**植 物 全 科** 中村恒雄著 1971

家の光協会 東京都新宿区市ヶ谷船河原町 11 720 円 221 ページ

樹木の基礎知識をうるために格好な本である。マツ類 19 種、イチイ・トウヒ類 8 種、ヒバ類 18 種、ビャクシン類 4 種、その他 30 種について詳しく解説している。また日陰につよい木、花を楽しむ木、実をとる木についてもわかりやすく書いてあるほか、樹木の繁殖法や、病虫害の予防についても要領よく書いている。

**庭木、花木の病気と害虫** 藍野祐久・伊藤一雄ほか、共著 1968

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1 - 5 1, 500 円 441 ページ

一般林業用樹木の病虫害についての参考図書はかなり多いが、花木を主としたものは少ない。この本は花木に発生する病気 19 種と、その病徴と防除法について詳しくのべている。また、

花木の葉，花，根につく虫 10 種の生活史がわかりやすく書かれている。さらに公害と樹木，天敵のほか，農薬の使用法までのべている。

**モミジとカエデ** 大井次三郎ほか，共著 1968

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1 - 5 1, 200 円 294 ページ

モミジ、カエデは日本の秋を代表する樹木であるが，この本にはモミジ，カエデ園芸の歴史や古い文献などが順を追って書いてある。また野生種から園芸種への育種，さらに栽培と管理手入れのほか，生理から繁殖法にも力を入れて記載され，写真も多く，よみやすい。

**園芸植物の栄養繁殖** 藤井利重ほか，共著 1967

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1 - 5 1, 600 円 436 ページ

多くの専門家が執筆し，主として栄養繁殖の基本問題を取りあげており，さしきの原理と方法，さし穂の蒸散作用，発根の必要条件からさし床にいたるまで詳しく書いてある。また，接木についてもその要点をあげており，分根，取木についてもこまかい点まで書かれている。そのほかチューリップ，ランと一般家庭園芸の面についても栽培から繁殖までのせてある。

**図説 日本の造園** 岡崎文彬著 1968

養賢堂 東京都文京区本郷 5 丁目 30 3, 800 円 344 ページ

「造園とはその当事者が自分のこのみでつくるもので，とかく他人の意志が入ってはならない。」とある。京都の有名な庭にしても同じことがいえる。この本は古い時代の日本庭園について写真や図でとくにその特徴を説明し，その一部分は目でみただけでも楽しく感じられる。そこには植物，水，石を通して芸術がつけられた歴史を綴っている。最後にこれからの日本庭園がどのようにあるべきかを論じており，内容の豊かな本である。

**ガーデンライフ**(月刊雑誌)

誠文堂新光社 東京都千代田区神田錦町 1 - 5 350 円(月) その月によってことなるが凡そ 130 ページ

この雑誌ほど多方面にわたって書かれ，またその花木や草花の季節にあわせて特集号にしている本は外にない。花木，草花，芝にいたるまで，各専門家が書いている。そのほか園芸の相談、種子，苗木の分譲交換についても詳しく書かれているので便利である。カラー写真も豊富で見ただけでも楽しい。

(樹芸樹木科)